

## システムの名称：合理化システム普及協会「長期性能タイプA型」

## 第1章 システムの基本的な考え方

当普及協会は「木造住宅合理化システム認定」を取得し、木造住宅の作り方を合理化して、丈夫で安心、コストパフォーマンスの良い住宅づくりを目指している企業団体であるが、更に長期優良住宅に対応し、共通した仕様A型を協会としてシステム化したもので次の点を基本としている。

- ① パソコンを利用した簡易CADにより、営業・設計を支援することで、生産性の向上・効率化を図る。
- ② 構造材・羽柄材の標準化及びプレカット加工により、現場の効率化及び施工の省略化を図る。
- ③ 木造住宅合理化システム認定規程による長期性能タイプの基準を満たす。
- ④ 住宅完成後の保全・維持管理体制を整えている。

## 長期優良住宅の水準

- |                   |   |          |
|-------------------|---|----------|
| ① 構造躯体等の劣化対策      | ⇒ | 品確法 等級3  |
| ② 耐震性             | ⇒ | 〃 等級2及び3 |
| ③ 維持管理・更新の容易性     | ⇒ | 〃 等級3    |
| ④ 省エネルギー対策（5、6地域） | ⇒ | 〃 等級4    |
| ⑤ 35年以上の保守計画や修繕計画 |   |          |

## 第2章 システムの概要

## 2. 1 基本構造

- ① 基礎はべた基礎とする
- ② 土台：加圧・防蟻処理製材／ヒノキ／米ヒバ  
120mm×120mmを用いる。
- ③ 床下換気：ねこ土台
- ④ 外壁通気構造

## 2. 2 構造計画上の仕様

- ① 柱材：耐久性区分D1樹種とし、製材、構造用集成材、化粧貼り構造用集成柱  
横架材：製材、構造用集成材
- ② 耐力壁：構造用合板（厚9mm以上）等の面材  
筋かい
- ③ 床構造：次の2種類とする。
  - a) 根太レス構法とし、構造用合板（厚24mm）張り
  - b) 根太落とし込み構法

## 2. 3 構造計画

- ① 平面モジュール：1P=910mm、1000mm
- ② 構造ユニット：ユニットは4P×5P以下を標準とする。
- ③ 耐力壁の構成：耐力壁長さは1P以上、外周壁は面材耐力壁及び筋かいとする。内壁間仕切壁は筋かいとする。準耐力壁は設けない。

- ④ 住宅性能診断士ホームズ君「構造EX」Ver3.5（認定番号P04-02）を用いた構造設計による安全確認を行う。

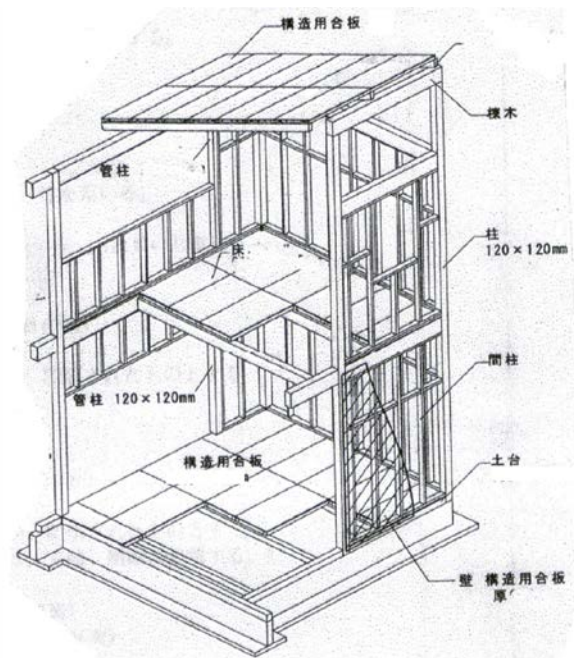
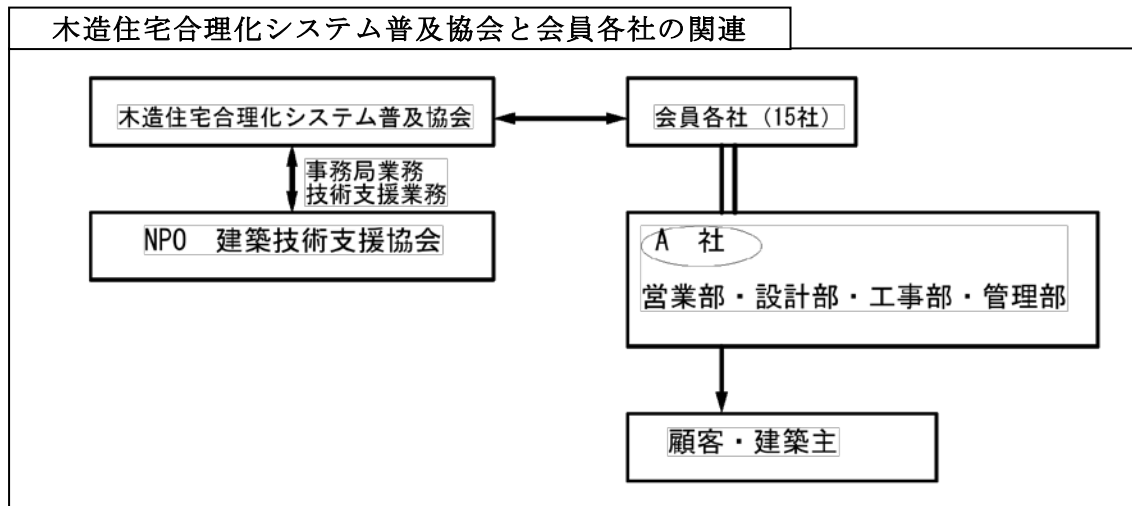


図 標準的な構法図

### 第3章 供給体制について

会員各社は、受注・設計・施工・保証までを自社による直接管理体制とする。社員による営業の実施と、自社内の設計担当部門での積算、受注後の設計図書の作成（又は協力設計事務所）、協力専門業者による施工と社員による工事管理、直接保証とアフターメンテナンスの実施と一貫した流れを構築している。



### 第4章 維持管理について

#### 4. 1 保証などの種類

(1) 保証体制：会員各社による自社保証

(2) 保険機関：住宅保証機構（株）などの指定住宅瑕疵担保責任保険法人

#### 4. 2 維持保全計画（標準的な対応）

35年維持保全計画書を基に通常のアフターサービスの他、長期保守点検計画を作成し、顧客への保全計画のアドバイスなど、サポートを行う。

#### 4. 3 定期点検の実施（標準的な対応）

点検：2年・5年・10年に無償点検を実施、2年以内の点検は、顧客の要請により行う。

11年目以降は有償点検とする。